

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、呼吸器内科では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 当院における自己免疫性肺胞蛋白症 10 例の検討

[研究対象者]

2002年2月～2021年6月までの間に、呼吸器内科にて自己免疫性肺胞蛋白症と診断され、呼吸器内科で診断・治療を受けられた方

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：気管支鏡により採取した肺組織、気管支肺胞洗浄液（うち、残余があるものに限る。）

診療情報等：疾患名、年齢、性別、病歴、併存疾患名、既往歴、血液検査、画像検査、以前の経気管支肺生検の病理組織診、呼吸機能検査

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

当科における自己免疫性肺胞蛋白症の臨床的特徴を明らかにすることを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2024年3月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学 呼吸器内科 教授・基幹分野長 多賀谷 悦子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 呼吸器内科 三好梓

電話：03-3353-8111（内線28883）（応対可能時間：平日9時～16時）